

□主な内容

【平成 27 年度に開催するセミナーの参加者募集中！】

以下のセミナーの参加者を募集しています。皆様のご参加をお待ちしております。

3/9(水)第 1 回モビリティ・マネジメント教育普及推進セミナー (JCOMM セミナー2016 in 広島)

[http://www.ecomo.or.jp/environment/study/1st\\_seminar.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/study/1st_seminar.html)

3/14(月)エネルギーの「創」「蓄」「省」でめざす新しい地域づくりの探求～地域特性を活かした人々の暮らしを高める地域づくりのモデル構築～

<http://www.jri.co.jp/page.jsp?id=27969>

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 115 回)

●「おかげさま Action! 世界一持続可能な交通環境のまち伊勢」

【電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会 会長 朴 恵淑】  
(三重大学人文学部・地域イノベーション学研究所 教授)

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 115 回)

●「綾瀬市のバス交通」

【綾瀬市都市建設部都市政策課 参事兼課長 金子廣志】

3. ニュース／トピック

●世界初！燃料電池二輪自動車等の技術基準策定について【国土交通省】

●平成 27 年度「鉄道利用マナーUP キャンペーン」～「ひと声マナー」はじめよう。～について【国土交通省】

●平成 28 年度モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業の公募開始について【国土交通省、環境省】

●平成 28 年度地域再エネ水素ステーション導入事業の公募について【環境省】

●エコ通勤・エコ通学トライアルウィークの参加事業所募集について【山梨県】

●平成 27 年度「エコモビ実践キャンペーン」の実施結果について【愛知県】

●第 1 回佐賀県「エコドライブコンテスト 2015」(事業所部門)の表彰式について【佐賀県】

●燃料電池自動車モニター制カーシェアリングの募集について【京都市】

●「三井のリパーク」、交通系 IC カード「manaca」での決済サービス開始について【名古屋市交通局、三井不動産リアルティ株式会社】

●ワイヤレス充電システムを用いたEVバスの公道実証試験開始【株式会社東芝、早稲田大学理工学術院】

●バイクシェア事業の普及促進に向けた実証実験を実施【株式会社 NTT ドコモ、株式会社ドコモ・バイクシェア、パナソニック株式会社】

●1万2000か所に電気自動車の充電ステーション設置支援について【フランス環境・持続可能な開発・エネルギー省】

#### 4. イベント情報

●第1回モビリティ・マネジメント教育普及推進セミナー（JCOMM セミナー2016 in 広島）【2016/3/9】

●環境教育フェスタ【2016/3/4-5】

●都市交通フォーラム@関西【2016/3/5】

●公共交通を活かした地域づくりシンポジウム【2016/3/5】

●ひょうご自転車まちづくりシンポジウム【2016/3/12】

●エネルギーの「創」「蓄」「省」でめざす新しい地域づくりの探求～地域特性を活かした人々の暮らしを高める地域づくりのモデル構築～【2016/3/14】

●超小型モビリティシンポジウム【2016/3/22】

●第9回運輸と経済フォーラム「ドイツにおける運輸連合～地域交通での役割と有用性～」【2016/3/22】

●カーフリーデー進歩ジウム～人と環境にやさしい公共交通～【2016/3/26】

●京都スマートシティエキスポ 2016【2016/6/1-3】

●第11回日本モビリティ・マネジメント会議【2016/7/15-16】

#### 5. その他

●EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！

●EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

●「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

●エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

●交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！

●記事募集中！

---

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 115 回)

●「おかげさま Action! 世界一持続可能な交通環境のまち伊勢」

【電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会 会長 朴 恵淑】

(三重大学人文学部・地域イノベーション学研究所 教授)

三重県伊勢市は、人口約 13 万人のまちでありながら、1300 年前から行われている 20 年毎の式年遷宮には、多くの参拝客や観光客で賑わうまちでもあります。特に、平成 25 年の式年遷宮には、伊勢市民の 100 倍以上、日本の総人口の 1 割を超える約 1400 万人の参拝客や観光客が伊勢を訪れました。

平成 24 年 8 月に、電気自動車等を活用した低炭素社会の実現並びに地域活性化を図るため、産官学民の連携による「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」を発足し、「おかげさま Action! ～住むひと、来たひと～」を基本コンセプトとする「世界一持続可能な交通環境のまち伊勢」創りに取り組んでいます。

主な活動内容及び著しい成果は、次の 3 つに大別できます。

(1) 電気バス「ピカチュウ電気バス」の営業

平成 26 年 3 月から、協議会のメンバーである三重交通(株)において、国内初となる大型電気バス(国産)の営業運転を開始し、市民はもちろんのこと、参拝客や観光客に持続可能な交通環境のまち伊勢の見える化に成功しました。

(2) 電気自動車等を活用した「エコ観光キャンペーン」の実施

公共交通機関による伊勢への来訪及び、伊勢市内を電気バスや電気自動車等にて周遊する企画としてエコスタンプラリーを開催しています。電気自動車の無料レンタルや市内の観光スポット、和菓子店における割引、プレゼントの譲与などを行い、地域住民と参画者が一体となって「エコ観光キャンペーン」を実施しています。

(3) 「電気自動車用充電器」の整備促進

市内の充電器の整備促進によって、設置施設は 23 ヶ所、普通充電器は 43 基、急速充電器は 13 基を設置し、特に、伊勢市役所には急速充電器を 2 基設置しました。

今後の取り組みとして、平成 28 年 5 月の「伊勢志摩サミット」に向けて、平成 28 年 1 月から「若者による環境に配慮したライフスタイル発掘プロジェクト」をスタートさせました。三重大学及び皇學館大学生による企画会議を重ね、電気自動車、電気バス、スマートバイク(自転車)、徒歩で伊勢志摩地域を周遊しながら、伊勢志摩の魅力的環境の再発見を行い、世界へ発信する野心的プロジェクトであります。「伊勢志摩サミット」を絶好の機会と捉え、次世代を担う若者による電気自動車等を活用した持続可能な交通環境活動及び世界への発信に大きく期待できます。

協議会 HP <http://www.city.ise.mie.jp/8513.htm>

## 2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 115 回)

### ●「綾瀬市のバス交通」

【綾瀬市都市建設部都市政策課 参事兼課長 金子廣志】

綾瀬市は、神奈川県のおぼ中央に位置し、横浜へは約 20km、都心部へは約 40km の首都圏域にあり、市外縁部にある鉄道駅周辺から市街地が形成され、市の中央部が空洞化したことから、タウンセンター計画として市中央部に市役所や集客施設などを重点的に配置したまちづくりを進めてきました。

市内には鉄道駅がないため、市民アンケートにおいても「交通機関が不便」が住みたくない理由の最も多い回答になっており、市民の移動も自家用車やバス交通といった車利用が主になっていることから、バス交通の充実を中心に公共交通計画を進めています。

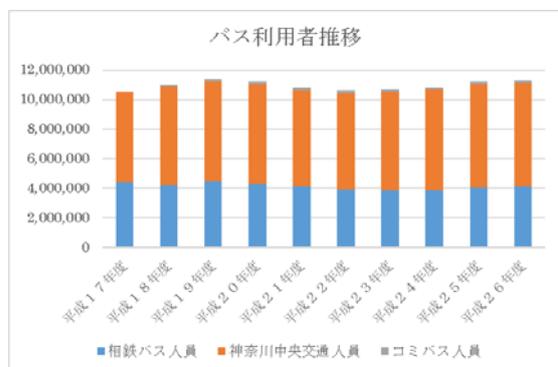
バス交通は、市の中央部にある市役所にバスロータリーを設け、鉄道駅へのアクセスを中心とした 2 社のバス事業者と交通不便地域をアクセスしている市事業のコミュニティバスの 3 事業者が区域を住み分けて運行しています。

バス事業者には、新規路線の開設要望と併せて市で環境整備を行うことで、これまで複数の新規路線運行が実現し、市民の移動機会の増進を図ってきました。

コミュニティバスは、平成 17 年度から「かわせみ号」の愛称で市内を 5 路線運行し、10 年を迎えました。運賃は 150 円で 65 歳以上の方や小児への運賃割引、自動車免許証を自主返納された方への無料乗車券交付、市役所から近接する大規模医療機関までの乗り継ぎ券の交付などの割引制度を設けています。

バス運行実績についても毎年少しずつ利用者が増えており、昨年度の実績では、路線バスが 2 事業者で 41 系統、利用者数 11,120,051 人、走行距離 3,328,684km となっております。また、コミュニティバスも利用者数 181,427 人、走行距離 176,924km で 1 便当たり平均 15 人の乗車があります。(図表-1、図表-2)

【図表-1】



【図表-2】



旅客輸送機関別の※二酸化炭素排出原単位は、自家用自動車が 147g-co2/人キロ、バスは 56g-co2/人キロと自家用自動車がバスの 2.6 倍の二酸化炭素排出量となっており、バスの乗車人数が 5 人を下回ると乗用車よりも環境負荷の優位性が認められなくなるといわれているなかで、路線バスだけでなくコミュニティバスの運行を行うことで乗用車利用の抑制と併せて環境負荷への貢献がされていると考えております。

これまで、市内から鉄道駅までのアクセス向上を重点にバス路線の整備を進めてきましたが、市内を通過する東名高速道路に平成 29 年度を完成目標として(仮称)綾瀬スマートインターチェンジの設置が進んでいることから、あわせて東名高速道路にあります「東名綾瀬バス停」へパーク&バスライドの整備を行い、高速バスを利用しやすくすることで東京駅・横浜駅・御殿場方面・羽田空港などへの長距離移動の機会を増やす計画を進めています。

市内に鉄道駅がない状況を逆に、バス交通の充実を図ることで、交通環境の改善と自家用車使用の抑制を進め、環境的に持続可能な交通の推進の実現を図ってまいります。

※2013 年度国交省 HP より参照

---

### 3. ニュース／トピック

#### ●世界初！燃料電池二輪自動車等の技術基準策定について【国土交通省】

国土交通省では、国内自動車メーカーにおいて、二輪の燃料電池自動車の開発が進んでいることに鑑み、世界に先駆けて燃料電池二輪自動車等の安全基準を策定しましたので、お知らせします。これにより、今後、燃料電池二輪自動車の普及及び我が国の自動車メーカーの国際競争力の確保に資するものと期待されます。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha07\\_hh\\_000199.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha07_hh_000199.html)

#### ●平成 27 年度「鉄道利用マナーUP キャンペーン」～「ひと声マナー」はじめよう。～について【国土交通省】

国土交通省では、平成 23 年度から鉄道事業者等と連携した「鉄道利用マナーUP キャンペーン」を実施しています。今年度も、2 月から 4 月までの 3 ヶ月間、各鉄道駅における啓発ポスターの掲示等により、本キャンペーンを展開します。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo02\\_hh\\_000069.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo02_hh_000069.html)

#### ●平成 28 年度モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業の公募開始について【国土交通省、環境省】

国土交通省では、環境省と連携し、海運を活用した低炭素型静脈物流システムの構築に必要な経費の一部を補助することにより、静脈物流のモーダルシフト及び輸送効率化を推進し、二酸化炭素排出量の削減を図るとともに、循環型社会の構築に寄与することを目的とし、2 月 19 日より平成 28 年度モーダルシフト・輸送効率化による低炭素型静脈物流促進事業の公募を開始しました。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/port06\\_hh\\_000112.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/port06_hh_000112.html)

<http://www.env.go.jp/press/102034.html>

#### ●平成 28 年度地域再エネ水素ステーション導入事業の公募について【環境省】

環境省では、「平成 28 年度地域再エネ水素ステーション導入事業」の公募を開始します。本事業は、低炭素な水素社会の実現と、燃料電池自動車の普及・促進のため、再エネ由来の水素ステーションの導入に対して支援を行うものです。公募期間は、平成 28 年 2 月 15 日(月)から平成 28 年 3 月 15 日(火)(当日消印有効)までです。

<http://www.env.go.jp/press/102017.html>

●エコ通勤・エコ通学トライアルウィークの参加事業所募集について【山梨県】

山梨県では、マイカーに過度に依存した生活を見直し、よりバランスの取れた交通に転換するきっかけとするため、平成 28 年 3 月 9 日(水)から 3 月 15 日(火)までの 1 週間、マイカー以外の交通手段を利用した通勤通学を体験していただく「エコ通勤・エコ通学トライアルウィーク」を実施します。県内事業所・学校にマイカー通勤している方や、送迎されている方が対象で、同ウィーク中に一回でも、バスや鉄道などの公共交通、自転車や徒歩といった交通手段で通勤通学することにチャレンジをしてもらうものです。

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinchaku/kotsu-seisaku/2702/eco-tsuukin-trial.html>

●平成 27 年度「エコモビ実践キャンペーン」の実施結果について【愛知県】

愛知県では、クルマ(自家用車)と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分ける「エコモビリティライフ」(エコモビ)の推進に取り組んでおり、「あいちエコモビリティライフ推進協議会」を中心に、「エコモビ」の普及啓発をはじめとした様々な取組を行っています。その一環として、県内の事業所が期間中、エコ通勤を中心とした「エコモビ」に積極的に取り組む「エコモビ実践キャンペーン」を平成 26 年度から実施しています。今年度は、昨年度を上回る 1,700 を超える多様な事業所がキャンペーンに参加し、11 月 19 日(木)から 12 月 18 日(金)までの期間中、「エコモビ」に取り組みました。

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotsu/280216ecomobi.html>

●第 1 回佐賀県「エコドライブコンテスト 2015」(事業所部門)の表彰式について【佐賀県】

佐賀県では、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を削減し、地球温暖化対策を進めるため、環境に配慮した自動車運転(エコドライブ)への取組を普及させることを目的とした「エコドライブコンテスト 2015」を開催しました。平成 27 年 6 月 15 日から平成 27 年 12 月 21 日までの期間のうち 2 か月間、県内 16 の事業所に、エコドライブ活動を実践していただいたもので、このたび 5 事業所の入賞を決定し表彰式を開催しました。

[http://www.pref.saga.lg.jp/web/kisha/\\_94542/\\_94858.html](http://www.pref.saga.lg.jp/web/kisha/_94542/_94858.html)

●燃料電池自動車モニター制カーシェアリングの募集について【京都市】

京都市では、利用段階で温室効果ガスの排出がなく、将来のエネルギーとして中心的な役割を担うことが期待される「水素エネルギー」の普及拡大に向けて、燃料電池自動車(FCV)を 3 台導入し、市民の皆様を対象とした全国初となるモニター制度による FCV カーシェアリングを開始します。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000194300.html>

●「三井のリパーク」、交通系 IC カード「manaca」での決済サービス開始について【名古屋市交通局、三井不動産リアルティ株式会社】

三井不動産リアルティ株式会社と名古屋市交通局は、名古屋市営地下鉄の駅から徒歩圏内の「三井のリパーク」駐車場において、株式会社名古屋交通開発機構及び株式会社エムアイシーが発行する交通系 IC カード「manaca(マナカ)」での料金精算サービスを2月2日(火)から開始しました。本サービスは、「三井のリパーク」駐車場と名古屋市営地下鉄を相互に利用する方のさらなる利便性向上を図ります。

[http://corp.mf-realty.jp/news/2015/20160201\\_01.html](http://corp.mf-realty.jp/news/2015/20160201_01.html)

●ワイヤレス充電システムを用いた EV バスの公道実証試験開始【株式会社東芝、早稲田大学理工学術院】

株式会社東芝と早稲田大学理工学術院紙屋雄史教授研究室は共同で、ケーブルを接続しなくても充電が可能な最新のワイヤレス充電装置とリチウムイオン二次電池 SCiB™を搭載した「先進電動バス『WEB-3 Advanced』」を中心とする EV バスシステムを開発しました。2016年2月1日より、国際戦略総合特区である川崎市殿町のキングスカイフロント地区および羽田空港周辺地域において、川崎市・全日本空輸株式会社の協力を得て、公道実証試験を実施しています。

[https://www.toshiba.co.jp/rdc/detail/1602\\_03.htm](https://www.toshiba.co.jp/rdc/detail/1602_03.htm)

[http://www.yomiuri.co.jp/adv/wol-rikou/research/160205\\_01.html](http://www.yomiuri.co.jp/adv/wol-rikou/research/160205_01.html)

●バイクシェア事業の普及促進に向けた実証実験を実施【株式会社 NTT ドコモ、株式会社ドコモ・バイクシェア、パナソニック株式会社】

株式会社 NTT ドコモ、株式会社ドコモ・バイクシェア、パナソニック株式会社は、2020年またその先の社会に向け、電動アシスト自転車をはじめとした、利便性の高い移動手段のシェアサービスや分散充電環境などのインフラ整備に向けた実証実験を共同で行うことを合意しました。

[https://www.nttdocomo.co.jp/info/news\\_release/2016/02/02\\_01.html](https://www.nttdocomo.co.jp/info/news_release/2016/02/02_01.html)

<http://www.d-bikeshare.com/news/detail/20160202>

<http://news.panasonic.com/jp/press/data/2016/02/jn160202-1/jn160202-1.html>

●電気自動車の充電ステーション設置支援について【フランス環境・持続可能な開発・エネルギー省】

フランス環境・持続可能な開発・エネルギー省は、電気自動車とプラグイン・ハイブリッド車をより利用しやすくするため、民間充電ステーションを新たに1万2000か所に設置するADVENIRプログラム(新規充電インフラによる電気自動車普及支援)に関する協定に署名しました。支援の対象は、企業等の駐車場内の共有ステーション、店舗の駐車場などで一般利用が可能な共有ステーション、集合住宅の私有地ステーションとしています。

<http://www.developpement-durable.gouv.fr/Segolene-Royal-annonce-l.html>

---

#### 4. イベント情報

● 第1回モビリティ・マネジメント教育普及推進セミナー(JCOMM セミナー2016 in 広島)

日時:2016年3月9日(水)13:20~16:45

場所:メルパルク広島5階 桜の間

主催:エコモ財団、中国運輸局、一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議

[http://www.ecomo.or.jp/environment/study/1st\\_seminar.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/study/1st_seminar.html)

● 環境教育フェスタ【2016/03/4-5】

日時:(1日目)2016年3月4日(金)12:30~16:10

(2日目)2016年3月5日(土)10:00~16:30

場所:新宿 NSビル 3J 会議室

主催:環境省

<http://www.env.go.jp/press/102124.html>

● 都市交通フォーラム@関西

日時:2016年3月5日(土)14:00~17:00

場所:弁天町 ORC200 生涯学習センター講堂

主催:NPO 法人 KOALA

<http://npo-koala.com/FORUM.pdf>

● 公共交通を活かした地域づくりシンポジウム

日時:2016年3月5日(土)13:30~16:30

場所:山梨県立図書館1階イベントスペース

主催:山梨県公共交通シンポジウム実行委員会

[http://www.humor.yamanashi.ac.jp/sasaki/TOP\\_PAGE\\_files/sym\\_y.pdf](http://www.humor.yamanashi.ac.jp/sasaki/TOP_PAGE_files/sym_y.pdf)

● ひょうご自転車まちづくりシンポジウム

日時:2016年3月12日(土)13:00~17:00

場所:神戸芸術センタープロコフィエフホール

主催:兵庫県

[http://web.pref.hyogo.lg.jp/ks18/kendo-toshiseisaku/toseikakari/zitennsya\\_machidukuri.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/ks18/kendo-toshiseisaku/toseikakari/zitennsya_machidukuri.html)

● エネルギーの「創」「蓄」「省」でめざす新しい地域づくりの探求～地域特性を活かした人々の暮らしを高める地域づくりのモデル構築～

日時:2016年3月14日(月)13:00~17:00

場所:ベルサール三田

主催:株式会社日本総合研究所

<http://www.jri.co.jp/page.jsp?id=27969>

●超小型モビリティシンポジウム

日時:2016年3月22日(火)13:30~16:30

場所:東京国際フォーラムホールB7

主催:国土交通省

[http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10\\_hh\\_000160.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000160.html)

●第9回運輸と経済フォーラム「ドイツにおける運輸連合～地域交通での役割と有用性～」

日時:2016年3月22日(火)14:00~17:30

場所:ホテルメトロポリタンエドモント1階「クリスタルルーム」

主催:一般財団法人運輸調査局

<http://www.itej.or.jp>

●カーフリーデー進歩ジウム～人と環境にやさしい公共交通～

日時:2016年3月26日(土)14:00~16:30

場所:神奈川県民サポートセンター 301号室

主催:NPO 法人横浜カーフリーデー実行委員会

<http://www.ycfd.jp/2016/02/post-82.html>

●京都スマートシティエキスポ2016

日時:(1日目)2016年6月1日(水)10:00~17:30

(2日目)2016年6月2日(木)10:00~17:30

(3日目)2016年6月3日(金)10:00~16:30

場所:国立京都国際会館、けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)ほか

主催:京都スマートシティエキスポ2016運営事務局

<http://expo.smartcity.kyoto/>

●第11回日本モビリティ・マネジメント会議

日時:2016年7月15日(金)、16日(土)

場所:松山市立子規記念博物館(道後温泉)

主催:一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議

<http://www.jcomm.or.jp/>

---

## 5. その他

- EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！  
2013年7月16日から募集を開始し、38団体が参加しています。  
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。  
[http://www.estfukyu.jp/partnership\\_gaiyo.html](http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html)

- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！  
<https://twitter.com/officeEST>

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！  
配信申込はこちらから  
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ  
<http://www.green-m.jp/>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！  
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>

- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！  
[http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon\\_offset/carbonoffset\\_system.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html)

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [magazine@ecomor.jp](mailto:magazine@ecomor.jp) (担当: 熊井)

---

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局  
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomo](https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo)

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>